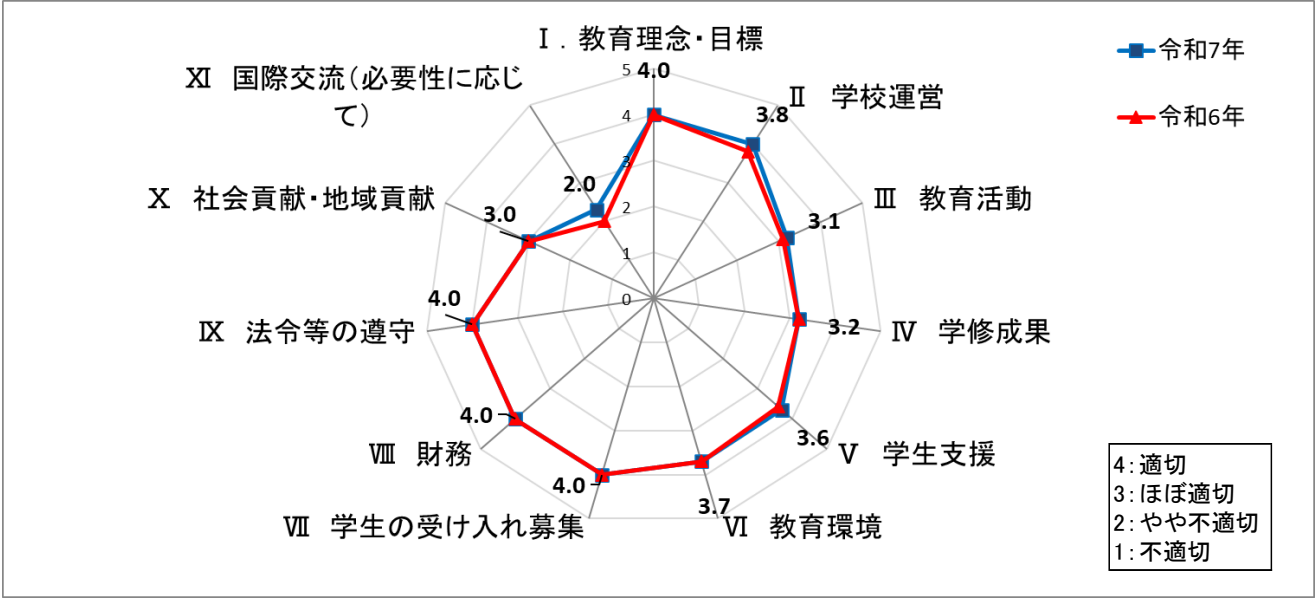


令和 7 年度 自己点検・自己評価報告

2026 年 3 月 24 日 現在



I. 教育理念・目標 評価：4.0 (昨年度：4.0)

評価基準

- ・理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特徴が明確になっているか）
- ・学校における職業教育の特色は何か
- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

① 令和 7 年度の評価

- ・法人の理念・目的・育成人材像に則り、保健師助産師看護師学校養成所指定規則を遵守しながら運営を行っている。
- ・学生には、入学時オリエンテーションの実施、抄読会で創設者を学び、吉岡彌生記念講演の聴講、日々の指導場面や看護実践を考える場面において、また、保護者には保護者会を通して、学校の理念・目的・教育目標・ディプロマポリシーなど学校の在り方を説明している。

② 課題

- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の中長期的ビジョンとその実現
(教員の教育貢献を多角的に評価し、教員の質向上と満足度向上を並行して実現すること、教育 DX 化推進事業)

Ⅱ. 学校運営 評価：3.8 （昨年度：3.8）

評価基準

- ・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ・ 事業計画に沿った運営方針が策定されているか
- ・ 営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- ・ 人事・給与に関する制度は整備されているか
- ・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- ・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・ 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか
- ・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

①令和7年度の評価

- 1) 法人の基本方針（教育部門）の重点課題に基づき、学校の事業計画を立案・実施している。
- 2) 各規程に基づき、委員会や会議が開催され意思決定が行われている。
- 3) 法人の規定に基づき人事・給与制度がとられている。
- 4) 教育場面における対応、人事、財務等、学校長決裁による意思決定システムが遂行されている。
- 5) ハラスメント委員会規定の見直し、ハラスメントに対する対応窓口を学生に提示した。
- 6) 自己点検・自己評価をホームページで開示を行っている。SNS を活用して、教育活動を適宜開示している。
- 7) 学籍管理システムソフトの活用により、学生情報・出席状況・成績管理の一元化が図られている。適宜生じる問題においてマニュアルを作成するなどの対応を行い、効果的な使用方法に基づく業務の効率化を図ってきた。

②課題

- 1) 教育活動等に関しての情報公開の頻度
- 2) 日常業務の課題から、学籍システムソフトの更なる活用を検討する

Ⅲ 教育活動 評価：3.2 （昨年度：3.1）

評価基準

- ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- ・ 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- ・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発 など実施されているか
- ・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

- ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか
- ・授業評価の実施・評価体制はあるか
- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか
- ・関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか
- ・教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか
- ・教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか

① 令和7年度の評価

- 1) 2022年第5次カリキュラム改正にて、規定に基づき新たなカリキュラム編成をし、承認を経て教育活動を行っている。
- 2) カリキュラム会議を発足し2年目となる。5回/年、課題の抽出と改善に取り組んだ。
- 3) 教育課程編成委員会を2回/年開催し、関連分野の企業・関係者からの意見を頂いている。
- 4) 各教員への授業評価のフィードバックについて、本年度末より初めていく予定である。
- 5) 病院実習以外にも、老人保健・福祉施設やデイケア・デイサービス、母子保健センター、保育園、健診センター等、地域に拡がり見せている多様な看護拠点において実習を行っている。
- 6) 進級・卒業判定の基準は明確化され、成績評価・単位認定は規定に則り会議上で意思決定されている。
- 7) 看護師国家試験に向けての対策を1年次より開始し、資格取得に向けた教育を行っている。
- 8) 各看護領域の専任教員2名体制を目標にしているが、人材の確保ができていない。ハローワークの教員募集により次年度1名の採用が決まっている。
- 9) 日頃の課題の改善や教育内容のブラッシュアップに向けた取り組み、共通理解を深める必要のある事項など、教育の質向上に向けた教員研修の企画・運営の充実化が必要である。
- 10) 教員の外部研修の参加を促すために経済的支援を始めたが、一部の教員しか活用できていない。また、その研修での学びの伝達や共有の場を作れていない。
- 11) 看護研究の推進を希望した教員1名に対し、看護職キャリア開発支援部門の看護研究推進プロジェクトの協力のもと、アドバイザーをたて複数名の協力者が集い話し合いを行った。

② 課題

- 1) 引き続き、カリキュラムにおける課題の抽出とその改善
- 2) 専任教員が不足
- 3) 教育の質向上のための取り組み(教員研修や、学会・学外研修の参加等)

Ⅳ. 学修成果 評価：3.2 （昨年度：3.2）

評価基準

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・退学率の低減が図られているか
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか
- ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

①令和7年度の評価

- 1) 令和7年度卒業予定者70名中63名が病院勤務、5名進学、1名未定である。
- 2) 令和7年度 第115回国家試験合格率は92.9%（全国平均94.1%）であった。次年度に向けて資格取得率の向上のために年間計画を見直し、臨地実習と国試の連動学修の推進、業者による国試対策講座の導入、成績下位学生への個別指導を行う。
- 3) 昨年度より退学者は1名減少している。3名の退学者は1年生であり、その理由は主に進路変更、精神面の健康不良であった。
- 4) 実習病棟での卒業生の活躍する姿を見たり、学校に相談に来る者、Home coming dayに参加した卒業生に限っては現状を把握できるが、卒後暫く経ってからの状況把握はできていない。教育活動の改善にまでは繋がっていない。

②課題

- 1) 卒業生の現状把握方法が必要

Ⅴ. 学生支援 評価：3.7 （昨年度：3.6）

評価基準

- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ・学生の生活環境の支援は行われているか
- ・保護者と適切に連携しているか
- ・卒業生への支援体制はあるか
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

①令和7年度の評価

- 1) アンケート結果をもとに2年生対象の就職ガイダンス内容を見直し、学生のニーズを踏まえ領域別説明会を開催した。早い時期から就職を具体的に考えることができ、学内医療施設へのインターンシップの参加者数が昨年度より1.5倍となった。雇用対策推進室を中心とした相談窓口や情報提供などの就職支援を行うことができた。
- 2) 令和7年度卒業生の学内就職率は58.6%（昨年度61.5%）と低下している。
- 3) 1回/週、公認心理士・臨床心理士による学生相談室の開設は継続されている。
- 4) 本学独自の奨学金他、各種奨学金、高等教育の修学支援制度、ハローワーク指定講座による専門実践教育訓練給付金がある。
- 5) 学生健康管理室による学生の健康管理を行う部署がある。
- 6) 看護学部国際交流サークル"Hello World!"に準部員としての誘いを受け、約4名程度の学生が看護学部と一緒に課外活動を行っている。
- 7) 1回/年の保護者会の開催、成績不審の学生に関して適宜個別面談の実施、心配な学生の電話連絡などを通して保護者と連携をとっている。
- 8) 足立医療センター第2やよい保育園による「病児保育」を申請した学生が使用できている。
- 9) 業者を通して高校の進路説明会に参加し、その学年に合わせた説明を行っている。

②課題

- 1) 学内就職率の低下（外部就職率の増加）

VI. 教育環境 評価：3.7 （昨年度：3.7）

評価基準

- ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

①令和7年度の評価

- 1) 施設・設備については、看護師養成所指定規則に準じて整備されている。
- 2) 学生から出た要望に対してアメニティ（ポット、傘袋スタンドなど）を可能な限り設置している。
- 3) 学内外の実習施設は相当数確保できている、かつ実習指導者を配置いただき教育にあたっている。
- 4) 防災マニュアル第1案が完成した。

②課題

- 1) 防災マニュアルの学生への周知と、足立医療センターとの調整
-

VII. 学生の受け入れ募集 評価：4.0 （昨年度：4.0）

評価基準

- ・ 学生募集活動は、適正に行われているか
- ・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・ 学納金は妥当なものとなっているか

① 令和7年度の評価

- 1) 入試時期の変更に伴い、在校生主催のオープンキャンパスや社会人向け入試説明会の時期も合わせて変更した。オープンキャンパス、低学年向けオープンキャンパス、社会人向け入試説明会、学校見学の回数はそのままにし、病院見学を組み込むなどの新たな試みを行いながら学校のPRを行ってきた。
- 2) 建学の歴史・精神、教育目標、特性、教育内容と進度、奨学金、国家試験結果、就職内容、等の説明が一律でできるようスライドにノートを作成し、担当者を主事、教務主任、業務担当者にすることで、その正確性を確保している。
- 3) 昨年の入試で生じたアクシデントより、問題作成者への依頼方法を変えて準備を行い、同様のアクシデントは防げた。入試要項の準備や様々な書類の作成など教員では効果的に進められない事象や、入試後に行った振り返りが次の入試に活かされない事象も起こった。

②課題

- 1) 受験者数の減少
- 2) 入試実行業務の役割分担

VIII 財務 評価：4.0 （昨年度：4.0）

評価基準

- ・ 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか
- ・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・ 財政について会計監査が適正に行われているか
- ・ 財務情報公開の体制整備はできているか

①令和7年度の評価

- 1) 学校の財務は法人の事業計画に基づき、適切に行われている。

②課題

- 1) 特になし
-

IX. 法令等の遵守 評価：4.0 （昨年度：4.0）

評価基準

- ・法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか
- ・学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか

①令和7年度の評価

- 1) 法令遵守、専修学校設置基準に沿った運営を行なっている。校内に1か所意見箱を設置、本年度は21件（昨年度33件）の意見があり、教員の指導・授業への意見、学生同士のトラブルや、備品に関する内容であった。
- 2) 個人情報保護に関しては、「情報科学」の授業からその重要性を伝え、また、実習前に多数の時間をかけて一定のルールを説明している。ただ、学内に関しては認識が薄い傾向も見られている。
教職員は、学籍番号での教室の張り出しや、メールでの連絡手段をとる際のダブルチェックなどを行い個人情報保護のための対策を講じている。
- 3) 自己点検・自己評価を行い次年度に活かし、また結果をホームページにて公開している。

②課題

- 1) 個人情報保護に対する認識の薄れ

X. 社会貢献・地域貢献 評価：3.0 （昨年度：3.0）

評価基準

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

①令和7年度の評価

- 1) 足立区「絆のあんしんネットワーク活動」の協力機関となり4年目、学生への活動の趣旨の説明、ポスター掲示している。長期休暇前に地域清掃を行っている。
- 2) 病院の防災訓練による患者役、クリスマスイベントの実施など学内におけるボランティア活動は継続している。また、学園祭では、血圧測定やBLS（一次救命処置）、妊婦体験、高齢者体験のブースを設け、学びを活かし地域の方の健康を支える活動を行っている。
- 3) 今年は、初めて地域ボランティア活動を行うことができた。「足立区精神障がい者自立支援センターふれんどりー」のお祭りに参加をし、来場者の方と一緒にビーズづくりを行った。

②課題

- 1) 地域へのボランティア活動の拡大

XI. 国際交流（必要性に応じて） 評価：2.3 （昨年度：2.0）

評価基準

- ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか
- ・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

① 令和7年度の評価

- 1) 留学生の受け入れは行っていない。
- 2) 在住外国人が増加している状況を踏まえ、多文化共生への理解を深める目的とし、卒業を間近に控えた看護学生に対し「やさしい日本語」勉強会を実施した。
- 3) 看護学部との協力を得て、足立医療センターに来院した外国看護学生と交流する機会を2回も設けることができた。

②課題

- 1) 「やさしい日本語」勉強会を評価し継続を検討する